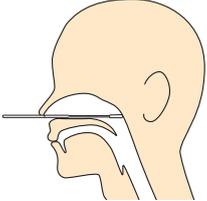
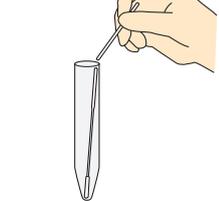
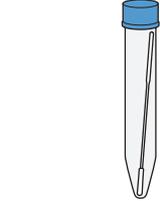


「百日咳菌核酸同定」の検体採取方法

容器番号		採取方法			
53番	55番	①専用スワブを袋から取り出します。このとき、先端の綿球部分に触れぬよう注意し、柄をつまんで取り出します。			
			②被検者の頭部が動かないよう固定してから、スワブを慎重に後鼻腔の後壁に接するまで深く挿入し、約10秒間留置して鼻腔粘液を採取します。	③スワブを速やかに提出用容器に入れ、スワブの柄をスリット部分で折ります。	④スワブを入れたままキャップをしっかりと閉め、凍結（-20℃以下）保存でご提出ください。

※ 成人は座位で、幼児学童は保護者が座位でしっかり抱っこして、乳児は横に寝かせて固定します。はじめにしっかりと固定することが苦痛を最小にします。

※ 鼻汁が多い場合は、あらかじめ鼻かみにより鼻汁を出してから、後鼻腔ぬぐい液を採取します。